

ダイバーシティ社会推進、男女共同参画、ユニバーサルデザインに関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
ダイバーシティ社会推進課	2021年01月27日から 2021年02月10日まで	952	562	59%

今回は、ダイバーシティ社会推進課、地域福祉課からのアンケートです。
 ダイバーシティ社会推進課では、性別、年齢、障がいの有無、国籍・文化的背景、性的指向・性自認などにかかわらず、一人ひとり違った個性や能力を持つ個人として尊重され、誰もが希望を持って日々自分らしく生きられる、誰もが自分の目標に向けて挑戦できる、誰もが能力を発揮し、参画・活躍できる社会を「ダイバーシティ社会」ととらえ、そのような社会の実現に向けた取組を進めています。
 また、一人ひとりが性別にかかわらず、家庭や地域、職場において、能力と個性を十分に発揮できる「男女共同参画社会の実現」をめざし、さまざまな取組を行っています。
 今後のダイバーシティ社会の推進や男女共同参画の実現に向けた取組に役立てるため、ご協力をお願いします。
 地域福祉課では、障がい者、高齢者、妊産婦、外国人等だれもが、自由に移動し社会参加できる「ユニバーサルデザインのまちづくり」を推進しています。ユニバーサルデザインに関する皆さんの意識を調査し、今後のユニバーサルデザインの普及に役立てるため、ご協力をお願いします。

<参考>

関連する三重県のホームページ

・ダイバーシティ社会推進

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/01/ci400013451.htm>

・男女共同参画

<https://www.pref.mie.lg.jp/IRIS/HP/index.htm>

■ Q1 「ダイバーシティ」について 1

はじめに、ダイバーシティ社会推進課からお聞きします。
 あなたは、以前から「ダイバーシティ」という言葉をご存じでしたか。「知らない」とお答えいただいた方は、Q3へお進みください。

合計	562	
知っている	309	55.0%
知らない	253	45.0%

■ Q2 「ダイバーシティ」について 2

Q1で、「知っている」を選んだ方にお聞きします。あなたは、「ダイバーシティ」という言葉をどこで（何で）知りましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	309	
新聞	121	39.2%
書籍・雑誌	61	19.7%
テレビ・ラジオ	147	47.6%

インターネット	120	38.8%
職場・企業情報	95	30.7%
家族や友人の会話	19	6.1%
県からの情報（県政だよりやe-モニターなどを含む）	77	24.9%
その他	10	3.2%

■ Q3 ダイバーシティ社会の実現について

性別や年齢、障がいの有無、国籍等に関わらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現のために、さまざまな取組が必要であると考えます。これらの取組を県民の皆さんとともに進めるうえで、あなたは、県の取組として何を優先すべきであると思いますか。主なものを2つまで選んでください。

合計	562	
ダイバーシティの理解・共感	359	63.9%
教育	222	39.5%
世代、障がい、国籍・文化などを越えた交流	168	29.9%
暮らしにおける地域の支え合い	100	17.8%
あらゆる分野での女性の活躍	41	7.3%
就労環境の充実・働き方改革	125	22.2%
その他	13	2.3%

■ Q4 性のあり方の多様性について 2

次の言葉のうち、言葉も内容も知っているものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

LGBT…レズビアン（女性の同性愛者）・ゲイ（男性の同性愛者）・バイセクシュアル（両性愛者）・トランスジェンダー（出生届・戸籍上の性別とは違う性別で生きる人、生きたい人）の頭文字をとって組み合わせた総称語。

性的指向（Sexual Orientation）…好きになる相手、性的対象が誰（同性・異性・両性）であるか。

性自認（Gender Identity）…自分の性別をどう認識するか。

SOGI…すべての人の性的指向（Sexual Orientation）・性自認（Gender Identity）を表す言葉。

合計	562	
LGBT	514	91.5%
性的指向	261	46.4%
性自認	181	32.2%
SOGI	36	6.4%
どれも知らない	43	7.7%

■ Q5 性のあり方の多様性について 3

あなたは、多様な性的指向・性自認やLGBTなどについて、これまで学んだことはありますか。

合計	562	
ある	158	28.1%
ない	404	71.9%

■ Q6 性のあり方の多様性について 4

Q5で「ある」を選んだ方にお聞きします。あなたは、これまでどのような場で学んだことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	158	
学校の授業	27	17.1%
講演会や研修会への参加	62	39.2%
関連イベントへの参加	6	3.8%
マスコミ報道（新聞、テレビ）	87	55.1%
書籍	37	23.4%
支援団体等のホームページ	6	3.8%
当事者との交流会	12	7.6%
その他	19	12.0%

■ Q7 性別について

ここからは、男女共同参画についてお聞きします。
男女の性別によるアンケート結果の分析のため、あなたの性別（自認する性）をお答えください。
なお、選択肢がない場合は回答不要です。

合計	556	
男性	286	51.4%
女性	270	48.6%

■ Q8 男女平等について（社会全体）

あなたは、社会全体（※）で、男女の地位が平等になっていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※家庭、地域、会社をはじめとするさまざまな場面をお考えください。

合計	562	
男性の方が非常に優遇されている	73	13.0%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	311	55.3%

平等である	70	12.5%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	37	6.6%
女性の方が非常に優遇されている	8	1.4%
わからない	63	11.2%

■ Q10 女性の社会参画について

あなたは、あらゆる分野で女性の社会参画が進んでいると感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	562	
感じる	60	10.7%
どちらかといえば感じる	296	52.7%
どちらかといえば感じない	123	21.9%
感じない	47	8.4%
わからない	36	6.4%

■ Q11 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

「男は仕事、女は家庭」のように性別によって役割を固定する考え方について、あなたはどう思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	562	
同感する（考え方に賛成）	13	2.3%
どちらかといえば同感する	98	17.4%
どちらかといえば同感しない	208	37.0%
同感しない（考え方に反対）	194	34.5%
わからない	49	8.7%

■ Q12 男女共同参画の推進について

あなたは、今後、男女共同参画を推進していくために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	562	
男性の意識改革	383	68.1%
女性の意識改革	259	46.1%
男性の家事・育児への参画	310	55.2%
長時間労働の是正	222	39.5%

女性が活躍できる職場環境の整備	325	57.8%
女性の参画を進める必要はない	11	2.0%
その他	37	6.6%
わからない	18	3.2%

■ Q13 女性の働き方について（考え方）

あなたは、女性が結婚・出産した場合の働き方についてどのようにお考えですか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	562	
結婚するまでは働くが、その後は働かない方がよい	6	1.1%
妊娠・出産までは働くが、その後は働かない方がよい	9	1.6%
産前産後休暇や育児休業等を利用しながら、出産後も働き続ける（キャリアを継続する）方がよい	338	60.1%
妊娠・出産したら一旦退職し、子育てが落ち着いたら再び働く方がよい	121	21.5%
その他	65	11.6%
わからない	23	4.1%

■ Q14 女性の働き方についての理由について

Q13で「妊娠・出産したら一旦退職し、子育てが落ち着いたら再び働く方がよい」を選んだ方にお聞きします。あなたは、なぜそのように考えますか。もっともあてはまるものを1つ選んでください。

合計	121	
配偶者の協力や理解が得られそうにないから（協力できないから）	2	1.7%
職場における育児休業制度等の支援制度が不十分だから（勤務時間も含め、仕事と育児を両立できないから）	22	18.2%
収入面で不安がなく、子どもが幼いうちは無理をして働く必要がないから	12	9.9%
保育園などの子どもの預け先がないから（保育環境が整っていないから）	3	2.5%
子どもが幼いうちは育児に専念したいから（専念した方がよいから）	77	63.6%
結婚や出産を機に退職する慣行があるから	0	0.0%

その他	5	4.1%
わからない	0	0.0%

■ Q15 「ユニバーサルデザイン」の意味及び関心について

ここからは、地域福祉課からお聞きします。

「ユニバーサルデザイン」とは、障がいの有無や年齢、性別等に関わらず、最初からできるだけ多くの人利用可能であるように施設、製品、制度等をデザインすることを言います。あなたは、「ユニバーサルデザイン」の意味を知っていましたか。また、関心はありますか。

合計	562	
意味を知っており、関心もある	273	48.6%
意味は知っているが、関心はない	118	21.0%
意味は知らなかったが、関心はある	126	22.4%
意味も知らなかったし、関心もない	45	8.0%

■ Q16 「ヘルプマーク」の認知度について

「ヘルプマーク」は義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成したマークです。

あなたは、「ヘルプマーク」を見たことがあり、その意味をご存じですか。

[参考：ヘルプマークに関する三重県のHPアドレス]

http://www.pref.mie.lg.jp/UD/HP/20794012515_00001.htm

合計	562	
見たことがあり、示す意味を知っている	287	51.1%
見たことはあるが、示す意味は知らない	33	5.9%
見たことはないが、示す意味を知っている	169	30.1%
見たことがなく、示す意味を知らない	73	13.0%